

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	4-(3)-イ	国際的な災害協力の推進	施 策	①国際的な災害支援体制の構築
			施策の小項目名	○アジア・太平洋地域における大規模災害発生に備えた体制整備
主な取組	国際緊急援助隊への登録に係る連携・協力		対応する成果指標	防災分野における研修会に参加した講師人数
施策の方向	・ アジア・太平洋地域における大規模災害の発生に備え、県内消防機関等の関係団体と連携・協力して、危機管理に当たる体制整備に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
国からの国際緊急援助隊への登録要請等があった場合に、県内消防機関の登録申請に係る対応	県,市町村	国からの国際緊急援助隊への登録要請等に対する、県内消防機関の登録申請に係る適宜対応		
		国からの要請に対する県内消防機関の登録申請		
		適宜対応	適宜対応	適宜対応
担当部課【連絡先】	知事公室防災危機管理課 【 098-866-2143 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

予算措置なし

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

—

—

令和5年度活動内容

国から国際緊急援助隊の追加登録要請等があれば、県内消防機関の意向を確認し、登録申請を行っていく。

(単位：千円)

予算事業名

予算措置なし

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

—

—

令和6年度活動計画

国から国際緊急援助隊の追加登録要請等があれば、県内消防機関の意向を確認し、登録申請を行っていく。

活動指標名

国からの要請に対する県内消防機関の登録申請

R5年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

活動概要

実績値

R3年度

R4年度

—

0

0

適宜対応

活動実績なし

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

活動実績なし

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

反映状況

○国際緊急援助隊の登録は、より高度な消防技術も必要とされる。県においても負担金の側面支援に努め、緊急消防援助隊合同訓練をはじめ、県内外での訓練等を通じ、県内消防本部の消防技術の向上を促進する。
○国際緊急援助隊への追加登録は、国による要請があった場合に初めてなされるものであり、国の動向を注視していく。

○国際緊急援助隊の登録は、より高度な消防技術も必要とされる。県においても負担金の側面支援に努め、緊急消防援助隊合同訓練をはじめ、県内外での訓練等を通じ、県内消防本部の消防技術の向上を促進する。
○国際緊急援助隊への追加登録は、国による要請があった場合に初めてなされるものであり、国の動向を注視していく。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	前年度の登録要請実績はないものの、世界各地で大規模災害が多発しており、派遣要請の増加に伴い、登録要請の可能性は高まっていると考えられる。	⑥ 変化に対応した取組の改善	これまでに引き続き、県内消防本部の消防技術向上を促進するとともに、すでに登録済み都道府県から情報収集しながら、国の動向を注視していく。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	4-(3)-イ	国際的な災害協力の推進	施 策	①国際的な災害支援体制の構築
			施策の小項目名	○アジア諸国等の大規模災害支援活動等の検討
主な取組	災害分野における国際貢献の推進		対応する成果指標	防災分野における研修会に参加した講師人数
施策の方向	・ アジア諸国等の大規模災害の支援活動について、本県の国際貢献についての役割を検討します。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施 主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
アジア諸国等の大規模災害時の支援活動や台風対策等について、本県の知見、技術の提供や防災意識の啓発等により、国内外に貢献することを目指す	県,関係機関	島嶼国の研修員を対象とした、沖縄県特有の防災・減災対策に係る講義の実施、視察受入		
		講義実施回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	知事公室防災危機管理課 【 098-866-2143 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

国際救援検討業務（パンフレット増刷）

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

県単等

直接実施

0

198

令和5年度活動内容

「沖縄県の防災対策」について、高知大学次世代地域創造センターと連携した島嶼国の研修員に対する研修を実施し、外国人向けパンフレットを増刷した。

予算事業名

国際救助センター検討業務

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

直接実施

300

令和6年度活動計画

「沖縄県の防災対策」について、高知大学次世代地域創造センターと連携した島嶼国の研修員に対する研修を実施し、外国人向けパンフレットを増刷する。

活動指標名

講義実施回数（累計）

R5年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

活動概要

実績値

R3年度

R4年度

—

1回

1回

1回（2回）

100.0%

順調

国外への貢献として、高知大学次世代地域創造センターと連携した島嶼国の研修員に対する研修を令和6年2月14日付対面で実施

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

計画通り研修を実施できたため。本県の災害対策の取組が島嶼国の参考にされることが期待される。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

コロナの規制緩和に伴ってより伝わりやすく、わかりやすい実施方法を検討する。

反映状況

研修を対面方式で実施することで受講者が講師に研修内容の質問をスムーズに実施できるようにするなど配慮し研修を行った。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	引き続き研修のわかりやすい実施方法を検討する	④ 創意工夫による取組の改善（合理化・効率化）	研修中に質疑応答の時間を設けるなど、各受講生が研修内容を理解しているかを適宜確認する。